



開催報告

医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月23日(金)に開催し、2024年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会にて、今年度の推薦数：医学賞20、奨励賞34を審査した。

選考の結果、11月1日(金)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は4名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

<2024年度日本医師会医学賞>

- DOCKファミリー分子の生体機能と動作原理に関する統合的研究
福井宣規 (九大生体防御医学研・免疫細胞生物学)
- がんの精確な情報発信と研究体制基盤整備による
わが国のがん対策推進の礎となる体制づくりへの貢献
祖父江友孝 (阪大・がん疫学・公衆衛生学)
- 個別化がん治療に必要なバイオマーカー研究による
世界初がんエピゲノム体外診断薬の開発
石岡千加史 (東北大・腫瘍内科学)
- 分娩に関する分子機構解析から安全な医療体制確立までの研究
木村 正 (堺市立病院機構・産科)

<2024年度日本医師会医学研究奨励賞>

- 血管炎症・免疫制御メカニズムの解明に基づく動脈硬化性疾患の克服
安達裕助 (東大・循環器内科学)
- スフィンゴシン1-リン酸受容体に焦点を当てた血管の弾性線維異常の解明
齋藤純一 (Yale University・循環器内科学)
- オートファジー非依存的フェロトーシスの制御による
βプロペラタンパク関連神経変性症 (BPAN) の根本的治療法探索
藤巻基紀 (筑波大・脳神経内科)
- シングルセルとゲノムの統合解析による全身性強皮症の血管病変の病態解析
石川優樹 (理化学研・リウマチ・膠原病)
- 脂肪萎縮症における眼合併症および眼内脂質代謝異常のメカニズム検証
寺尾 亮 (東大・眼科学)
- メタボロミクスを用いた病的近視の病態解明と新規治療薬の開発
富田洋平 (慶大・眼科学)
- 保健医療ビッグデータとホワイトボックスAIの融合による
非感染性疾患 (NCDs) リスクの解明:臨床疫学的探索
藤原和哉 (新潟大・血液・内分泌・代謝内科学)

次ページへ続く

●心不全における精密医療

野村征太郎 (東大・循環器内科学)

●がん種横断的大規模ゲノム解析による遺伝子異常の意義の解明

斎藤優樹 (国立がん研・分子腫瘍学)

●ミトコンドリア電子伝達系リモデリングをターゲットとした
糖尿病関連腎臓病の新規治療戦略

三瀬広記 (岡山大・腎・免疫・内分泌代謝内科学)

●全身性エリテマトーデスの新規診断マーカーならびに治療薬の開発

河野通仁 (北大・リウマチ・腎臓内科)

●ポリジェニックおよびメチル化リスクスコア相互作用に基づく
統合失調症と双極症の病態解明

大井一高 (岐阜大・精神医学)

●生体肝移植におけるOperational Toleranceを目指した個別化免疫抑制療法の開発

田嶋哲也 (京大・肝胆膵・移植外科学)

●霊長類モデル動物を用いた霊長類特異的な感音難聴の分子生物学的メカニズムの解明と
新規治療標的の探索

細谷 誠 (慶大・耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)

●卵巣がん患者体液中エクソソーム解析による新規診療モデル開発研究

横井 暁 (名古屋大・産婦人科学)

イベント情報

第36回日本医学会公開フォーラム

テーマ：「全ての診療領域の基礎となるゲノム医療～ゲノム医療推進法の基本計画策定に際し考慮すべきこと～」

会期：2024年10月5日(土) 13:00～17:05

会場：日本医師会館大講堂

組織委員：福嶋 義光 (信州大学医学部遺伝医学教室特任教授)

間野 博行 (国立がん研究センター研究所長)

市民を対象とした公開フォーラムである。

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。

第165回日本医学会シンポジウム

テーマ：「災害医療の現状と今後の課題」

会期：2024年11月16日(土) 13:00～17:05

会場：日本医師会館大講堂

組織委員：大友 康裕 (国立病院機構災害医療センター病院長)

磯 博康 (国立国際医療研究センター

グローバルヘルス政策研究センターセンター長)

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。